

## 子どもが笑って過ごせる地域の形成

兵庫県明石市 特定非営利活動法人兵庫子ども支援団体

特定非営利活動法人兵庫子ども支援団体 代表理事 多田実乗

平成25年に設立以降、児童虐待防止オ  
レンジリボン活動や小児がん・難病支援  
の啓発募金活動といった子どもへの間接  
的な支援、低所得収入世帯などの子ども  
たちを主な対象とした学習支援や子ども  
食堂の実施など子どもへの直接的な支援  
などを行っています。

私たち兵庫子ども支援団体は現代表理  
事が高校3年生であった2013年（平  
成25年）11月に同級生の有志とともに設  
立された団体です。設立当時はオレンジ  
リボン運動の啓発活動や虐待に関する団  
体内勉強会などの児童虐待防止に関する  
事業や小児がん・難病支援事業としまし  
て、他法人と協力のもと啓発・募金活動

を行っておりました。

現在は、それらの活動に加え、より直  
接的に子どもたちと関わる活動として学  
習支援に関する事業や子どもの健全育成  
に関する事業を、兵庫県明石市を中心  
に行っております。その他にも、ボランテ  
ィアを行いたい活動が見つからないと  
いった声を受けて、子どもに関する活動  
やボランティア募集に関する情報を発信  
する情報発信に関する事業を行っており  
ます。

2016年には読売新聞社が主催する  
第10回よみうり子育て応援団大賞におい  
て奨励賞を学生が主体となって活動する  
団体として初めて受賞いたしました。よ  
りこのような活動を広げるとともに、こ

れからの若い人たちが活動に一歩踏み出  
せるような環境を作るために2017年  
1月に特定非営利活動法人となりました。

通年で実施している  
活動について① 学習支援に関する事業  
学習支援「かがやき」

本事業は2015年5月から兵庫県明  
石市で、2016年6月から兵庫県加東  
市で主に経済的な理由で学校外教育を受  
ける機会が乏しい低所得収入世帯やひと  
り親世帯などの子どもを対象に実施して





学習支援の様子

います。地域や社会の将来を担っていくのは子どもたちであり、未来に輝く子どもたちを育てていくことは地域の活性化につながることも、団体の設立以来のミッションである「子どもが笑って過ごせる地域の形成」に重要な役割を果たすことであると考えています。

学習支援「かがやき」では二つの目的を掲げています。

一つ目は子どもたちの「総合的な生きる力」を育むことです。学習支援を行うことによって学力の向上に寄与することはもちろんですが、それだけではなく多様な学年の子どもたちが参加しているので、グループワークなどを通して子ども



グループワークの様子

たちのコミュニケーション能力を育むことができると思います。また、これからの社会を生き抜くためには、コミュニケーション能力以外にも読解力や他者に自分を表現する力など様々な力が必要となります。そのため、本事業では学習支援だけではなく社会教育活動などを取り入れることによって、子どもたちの総合的な生きる力を育みたいと考えています。

二つ目は、子どもたちの居場所になることです。子どもたちの中には保護者や学校の先生、友だちに話せない悩みを持っていることがあります。例えば、交友関係に関することや家庭に関することな

ど様々です。学習支援「かがやき」では、どのチューター（子どもたちの学習をサポートするボランティアの呼び名）も子どもたちと積極的にコミュニケーションを取ることで、子どもたちとの信頼関係を築いています。そうすることによって、子どもたちが持つ悩みを話しやすい環境を作ることができたり、家庭や学校とは別の第3の精神的に安心できる居場所になったりするだろうと考えています。

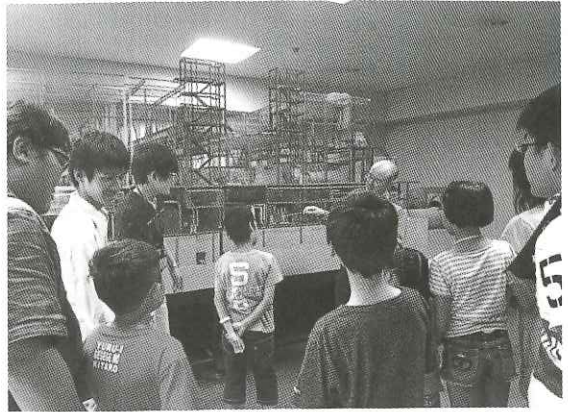
これらの目的を達成するために子どもたちとななめの関係を築いたり、支援に依存する関係にならないために学習サイクル構築に努めたりしています。また、活動をよりよくするために子どもたちと直接関わるチューターの意見を取り入れながら活動に取り組んでいます。

## 2 子どもの健全育成に関する事業 食育ひろば ひなた

本事業は明石市のモデル事業として2017年1月から市内の一つの小学校区を対象に実施しております。多くの子ども食堂は平日の夜に行われることが多いですが、本事業では土曜日の昼に行っています。働き方や家族というものが変化しており、休祝日でも仕事などの関係

で、家で、一人で過ごしている子どもがいます。また、休祝日ということもあり昼ごはんをインスタント食品で済ましてしまう家庭もあります。食育ひろば ひなたでは、そのような子どもや地域の人たちを対象に食事や地域の交流の拠点となるような居場所を作りたいと考えています。

コンセプトは「たべて まなんで あたたまる」。食（育）をつうじて大人数で食べることの楽しさなどを提供するとともに、それだけではなく私たちの団体の強みである学習支援（サポート）や大学生などの年の近い人との交流や遊びを通して心あたたまる場所を作りたいと考



施設見学の様子

えています。

### 今後の活動について

2018年11月で任意団体設立から5年が経ちます。今後も法人のミッションである「子どもが笑って過ごせる地域の形成」の達成に向けて子どもに関わる様々な活動を行います。2017年10月には団体を中心となり、様々な団体と連携して、ろう者と聴者がともに創りあげる人形劇の公演を行いました。今後も子どもたちの成長や子どもたちの笑顔につながる活動を行っていく予定です。

さらに、今年8月には活動拠点「明石



サイエンスフェスの様子



ものづくりイベントの様子

ひみつ基地「おひさま」を開設しました。活動拠点の開設によって、小・中学生以外の子どもたちにも積極的に様々な活動を提供することができると考えています。

また、一人ひとりが問題意識をもって行動することによって社会は少しずつ変わっていくと考えているので、現代代表理事が高校生のときに団体を設立したことを踏まえて、これから自分たちで何かをしたいと考えている高校生や大学生が行動に移せる勇氣等を与えられるように様々な場所で話をしたり、ウェブを通して伝えたりしていきたいと考えています。